

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への 反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的理由
■ 地域の資源と人を活かした「しごと」を創出する	新規正規雇用者数 →大北地区企業説明会白馬高校からの参加者	観光課	30→8	30→8	30→8	16	13	50→25	・告知チラシの全戸配布、広報無線、白馬高校内で進路指導担当との更なる連携により、参加者数増加を図ります。 ・地方創生推進交付金事業の実施による新規雇用者創出効果にも期待をしています	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・呼びかけだけではなく、高校生が参加し易くなるような工夫も必要なのではと考える。例えば企業側から出向いてもらうなどだろうか？ ・周知の徹底を図る。 ・白馬で働きたいと思う人への周知など大北地区白馬高生に限らず広く行っていただきたいと思う。				
	白馬産農産物ブランド化	農政課	-	5	7	9	9	10	継続して取り組みしています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・徐々に進んでいるようなので、農家への支援を適切に実施して、成果を出してほしい。 ・農産物の多様性を徹底的に推進することに期待する。 ・村でも消費・活用できるよう広く農産物を手に入れられるよう工夫を望む。				
	紫米の消費量 (t)	農政課	6	7	7	7	6	8	異常気象（猛暑及び雪不足）の影響が大きく、消費量が減となりました。							
	特産農産物の振興（栽培面積）(ha)	農政課	7	7	8	8.1	8.1	10	継続して取り組みしています。							
新たな創業支援と空き店舗の活用支援	空き店舗の斡旋と活用件数	観光課	0	1	0	2	1	5	商工会（創業塾サポート協議会）と連携し、空き店舗活用を推進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・新規創業者数が順調に伸びているのは良い傾向である。 空き店舗の活用はなかなか難しいようだが、何とか進めてほしい。				
	店舗後継者数	観光課	0	0	0	0	1	3	商工会の取り組みを支援します。							
	新規創業者数	観光課	3	5	9	4	8	10	創業塾の成果が顕著に現れています。引き続き創業者支援に取り組みます。 ※実績値は年度集計							
クリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	ペレットストーブ購入補助件数（累計）	農政課	5	12	15	20	22	30	県の補助金の付きが年々悪くなってきました。下方修正（30→25）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・小水力は目標にこだわらず、さらに進めるべきと思う。 村民の意識も高いと感じるのでさらに向上に努めてほしい。				
	ペレット販売袋数	農政課	689	971	1,085	1,432	1,259	1,000	暖冬により昨年より減となりました。							
	小水力発電量（万KWh）	農政課	-	108	115	120	127	100	農政課：発電計画時の年間可能発電電力量には至っていませんが、安全運転により順調に稼働しております。							
グリーンシーズンの観光振興	観光課	113	100	117	108	122	120	民間投資によるグリーン期のハード施設も整備され、アウトドアアクティビティを軸とした観光資源が強化されています。引き続き地方創生推進交付金事業の継続実施と民間事業者の取り組みを支援し、観光所得の平準化を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・決め手に欠く感じが強いと考える。民間とも協働しながら模索する必要がある。 ・村内への経済波及効果を検証いただきたい。					

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への 反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の 具体的理由
	道の駅の建設と地域経済循環システムの構築	道の駅売品収入額 (百万円)	観光課	249	230	219	230	207	300	・白馬村の特産品、農産品を集約した道の駅独自のネット販売サイトの構築を図るなどの、指定管理者の取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	・伸びやかなやんでいると感じる。さらなる発想や工夫が必要だと思う。 ・訪れたくなるような努力が必要である。			
	観光業の体力強化に向けた計画の推進	観光客数 (万人)	観光課	224	209	218	220	239	250	・米訪客実態調査、モバイル空間統計など基礎データの分析により、村内の観光資源をターゲットインし、DMOの効果的なプロモーションの取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・外国人観光客が順調に増加しているのは良い傾向だが、それに対応した整備も行っていくことも大切だと考える。 ・インバウンドに頼らない日本人への地域の魅力発信も続けていきたいと思う。 ・外国人観光客をあてにすると政治情勢などに影響され、安定した成果は出ない。日本人の集客に力を入れるべき			
		外国人観光客延宿泊数	観光課	77,724	100,310	113,970	164,377	集計中 (6月頃 発表予定)	100,000	・来村した外国人観光客が、安心してまわるきを楽しめる環境整備に取り組みます。あわせて、持続可能で魅力ある滞在環境を促進するため、観光・宿泊施設のイノベーションに取り組みます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・外国人観光客をあてにすると政治情勢などに影響され、安定した成果は出ない。日本人の集客に力を入れるべき			
	看護師と介護職員等の安定雇用	新規就業者 (看護師)	健康福祉課	0	-	-	-	-	-	看護師の確保には、どの機関も苦慮している状況が続いています。各事業所と連携を図りながら、専門職の確保に努めます。 ※指標の見直しを行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.8	・苦慮しているようだが、何とか確保できるように努力してほしい。 地域をもっと広げること必要なのはと思う。 ・大変な仕事なので人材確保も難しいのだろうか？職員皆さんの待遇・環境などの改善もひとつの鍵では、と考える。			
		新規就業者 (介護職員)	健康福祉課	0	-	-	講座開催)	28	4	介護人材不足は、慢性的な状況ですが、生活支援などを担う人材養成講座を、広域連合、大北5市町村合同で開催しました。 ※指標の見直しを行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.8	・苦慮しているようだが、何とか確保できるように努力してほしい。 地域をもっと広げること必要なのはと思う。 ・大変な仕事なので人材確保も難しいのだろうか？職員皆さんの待遇・環境などの改善もひとつの鍵では、と考える。			
■ 白馬への新しい「ひと」の流れをつくる		人口の社会増数	総務課	111	57	170	312	185	111	官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。平成30年度より移住交流のための地域おこし協力隊を採用し移住施策に取り組みました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・人口が社会増であるのは良い傾向だと考える。さらに増えるよう取り組んでほしい。			
	魅力ある白馬への移住・定住支援	移住者数	総務課	-	66	15	76	19	20	窓口アンケートにより捕捉。令和元年度は住民課窓口との連携不足によりアンケートの配布漏れがあったため、庁内での連携をしっかりと図り、実数の把握に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・若い世代の移住者が増加しているのは良い傾向である。 ・移住者への支援の強化、白馬村の伝統を守る指導が必要である。 ・移住者が夢を持ち入ってきた後の定住「に向け、住んでよかった住みやすい育てやすい村づくりを頑張してほしい。 ・地域課題を抽出して関連する団体に委託することも一案である。			
		地域おこし協力隊員数	総務課	3	5	7	9	8	10	令和元年度中に2名の任期途中の退職がありました。引き続き定住につながる工夫、協力隊の活動の周知等行います。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・若い世代の移住者が増加しているのは良い傾向である。 ・移住者への支援の強化、白馬村の伝統を守る指導が必要である。 ・移住者が夢を持ち入ってきた後の定住「に向け、住んでよかった住みやすい育てやすい村づくりを頑張してほしい。 ・地域課題を抽出して関連する団体に委託することも一案である。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への 反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的理由
		サテライトオフィスの設置企業数	総務課	-	0	1	1	0	1	平成30年度末までフルタイム・レジョンをサテライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が撤退し、現在は本企業1社（リクニ株式会社）となつてい						
		移住定住フェアの開催回数	総務課	0	1	2	3	4	2	引き続き広域連携を含め、白馬村単独だけでなく、圏域への魅力を創出していきます。						
	地域高校である白馬高校の魅力化	他県からの入学者数	総務課 (白馬高校支援)	0	13	18	15	20	15→21 (実数)	入学者数においては、県内他地区及び県外生が数多くっており、国際観光科の知名度もかなり浸透しているものと考えられます。今後は、通学可能な生徒の確保に力をいれ、地元生へのアピールを行っていく方法を考えています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.1	・他県からの入学者数は増加傾向にあるが、それに対応した体制はもう一歩充実してほしい。 ・国際観光科はそれなりに実績を上げてきたと感じる。スポーツ科の新設を期待したい。地元の子どもたちを入学させることが必要である。			
	外国人の児童・生徒に対応した教育環境の整備	外国人住民登録者数	教育課	177	245	445	468	514	240	平成30年度までは県費の日本語指導員でしたが、令和元年度から村単独で講師を雇用しています。支援員を活用した取り出し指導や補足的な指導、チーム・ティーチングにより、外国籍児童生徒の指導体制を行っています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.1	・外国人居住者が増えている以上、それに応じた環境整備や村民との交流が今後重要となると考える。			
	都市部からの児童・生徒の受け入れ	受入留学生数 →小中学校転入児童生徒数 (KPI変更)	教育課	0	8	13	15	10	10	子育て支援施策が移住定住施策につながるよう、妊娠期から子育て期にわたる総合的な子育て支援施策の充実に努めてまいります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・子ども時代の経験は将来を大きく左右すると思うので、さらに進めて、やがて白馬に何らかの型でかわってもらえるよう願う。 ・積極的な受け入れ対策に期待する。			
■ 若い世代の結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる		年間出生数 (累計)	健康福祉課→ 子育て支援課	63	43	46	46	41	350	年間50人の目標には届きませんでした。引き続き、子育て環境を整備し、出生数の増加を促進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	・目標はかなり高いが実現はなかなか困難といえそう。少しでもその気にさせる環境整備を図る必要性はある。 ・若者の移住定住にもかかわるので数だけでは判断は難しいと考えるが、この村で産み、育てたいと思ってもらえる村づくりが大切だと考える。			
	安心・安全な妊娠・出産への支援	合計特殊出生率	健康福祉課→ 子育て支援課	1.19	0.87	1.07	1.22	1.01	1.30	合計特殊出生率は年毎に微増減があります。子育て支援施策の充実により、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるよう子育て環境を整備し、出生率の向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・基本健診で全員を把握できているので、そこから信頼関係をつくり、帰村後も安心して相談できるような環境作りをしたら良いのでは？			
		妊婦基本健診受診率	健康福祉課→ 子育て支援課	97.1%	97.5%	100.0%	100.0%	100%	100%	里帰り出産時の健診を補助し、全員の利用が図られています。						

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への 反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的理由
		新生児訪問実施割合	健康福祉課→ 子育て支援課	74.6%	93.1%	86.7%	84.8%	89.5%	100%	出産後1か月以内を目途に、可能な限り自宅を訪問し、子育ての始まりを支援し、基盤となる信頼関係の構築に努めます。里帰り出産や外国人等、訪問ができない場合は、個々の状況により随時、対応しています。						
子育てへの安心サポート		休日保育の利用者数	子育て支援課	213	259	234	343	475	270	出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要は増加しています。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあっている状況です。増加傾向にある休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・保育士の確保が重要だと思う。雇用は一番難しいことだと思いますが、一番大切なことだと考えて取り組むべきだと考える。 ・屋外での支援も必要である。 ・サポートを望む人へだけのサポートができるのか？双方のバランスがうまく合うと若者や住民の日々の暮らしが元気になると思う。手の空いた人が助け合えるといいと思う。			
		放課後児童クラブの利用者数	子育て支援課	351	464	432	448	527	470	共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、特に観光産業の繁忙期を中心に需要が高まっており、今後も事業を継続実施する体制が必要です。あわせて他の放課後の子どもの居場所づくり施策についても、検討して参ります。						
		子育て支援センター個別相談件数	子育て支援課	44	52	46	256	635	60	子育て世代包括支援センター開設に伴い、妊娠前から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さらに、母子保健事業を加え全ての子育て施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。						
婚活サポート事業		婚姻数（累計）	総務課	41	61	113	138	134	270	若者交流事業がきっかけとなるよう、出会いの場を創出していくとともに、個別のマッチングについても他の機関とともに検討を進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・目標へはかなり隔りがあるが、増加傾向にある点で評価できる。 ・交流事業の更なる発展に期待する。			
ICTを活用した教育の推進		中学校タブレット活用授業（延べ人数）	教育課	0	48,000	46,480	49,100	789	900	全校生徒1人1台のタブレット端末配備が完了しています。導入目的であった、「主体的で対話的な学び」に寄与するように、ICT支援員を活用して、教員のICT活用指導力の向上を図ります。また令和2年度には初年度導入の端末の更新時期がきますので、計画的な機器更新を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.2	・今後は端末の有効な活用方法を研究し、教育面でより大きな効果が得られるよう努力してほしい。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への 反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的理由
		小学校タブレット活用授業 (延べ人数)	教育課	0	0	1,858	2,098	657	690	情報端末はクラス単位で1人1台が使用できるように整備してありますが、施設の老朽化などもあるため現在は新たな整備をしていない状況になっています。今後はプログラミング学習等も見据えるなかで、両小学校と整備方法などを検討していきたいと思いをします。						
■ 将来にわたって住み続けたい魅力ある「まち」をつくる		新築住宅戸数 (累計)	税務課	28	94	133	183	228	230	専用住宅・併用住宅を合わせて45棟が新築されました。さらに旅館・ホテル・簡易旅館は、52棟建築されています。しかしながら、新型コロナウイルスの影響が未知数であることから先行き不透明な状況です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.0	・外国人を中心とした増加が中心と思われるが、景観も配慮に入れて無秩序な開発にならないよう気を付けていただきたい。 ・建物数だけでなく住み続けてもらえる環境づくりを今後もお願いしたいと思う。			
	地域包括ケアシステムの構築	介護予防取組グループ数	健康福祉課	19	19	22	22	23	24	新規に介護予防活動を行う団体が1団体増加しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・少しずつでも増えるよう工夫してほしい。 ・支え合いマップは基本的な資料なので、すべての地域に整備できるよう進めてほしい。 ・更なる支援に期待する。 ・グループ数の増加もさることながら、参加者の数、年代にも今後は目を向けて次へと続く取り組みとしてほしい。			
		災害時支え合いマップ作成地区	健康福祉課	17	17	19	21	24	30	平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は3地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は24地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引き続き講習会を開催して行きます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・いずれも全体的に伸び悩み状態だと感じる。何らかの形で村民へのアピールを続ける必要性が高いと思う。 ・検診の必要性を村民に周知させる徹底を図る。 ・食育活動の周知も大切かと考える。			
	健康づくり支援	特定健診受診率	健康福祉課	47.1%	53.5%	55.4%	55.3% (速報値)	50.8% (速報値)	60.0%	平成30年度の確定数は55.6%。年々ほぼ変わらず推移していますが、目標60%を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6				
		特定保健指導率	健康福祉課	73.3%	66.7%	67.7% (速報値)	未確定	未確定	75.0%	平成30年度の速報値は68.6%です。令和元年度は未確定です。目標達成を目指します。						
		食育ボランティア登録者数	健康福祉課	20	27	29	28	28	30	ボランティアの高齢化により、退会する方もでてきています。新規会員の登録に努めます。						
	小集落への集落支援員の配置	集落支援員数	総務課	0	0	2	3	4	2	小規模集落支援が中心ですが、非常に助かっている旨の意見をいただきました。令和元年度は外国人対応の支援員を増員しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.2	・支援員の成果が出ているようなので、目標数にとらわれず増員していければ良いと思う。 ・支援員の更なる活動に期待する。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的な理由
	安心な生活を守る買い物支援	支援車両の運行台数→ 買い物を目的としたデマンド型乗合タクシーの乗客数	健康福祉課	857⇒ 7,729	954⇒ 7,855	908⇒ 6,898	869⇒ 7,380	8,676	1,000⇒ 8,100	乗客数は前年度比18%増加しました。しかし土日祝日及び17時便の実証運行の利用者は多くありませんでした。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・より利用しやすくなるよう工夫を重ねてほしい。 ・支援車両の活用に期待する。 ・増便の実証進行に関しては評価したいと思う。村外へ出かけJR利用の方の帰りの便には時間が合わず残念に思う。今後はほかの公共交通との乗り継ぎの利便性なども検討してもらいますます利用しやすいデマンドになることを希望する。			
	汎用防災アプリケーションシステム構築による防災対策	アプリダウンロード数 (累計)	総務課	0	0	アンケート調査・方針決定	構築	仕様確定	3,000	事業者が決定し、アプリの制作が始まりました。令和2年度中に公開をし、多くの方に利用されるように、周知に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・順調に計画通り進んでいるようだが、目標数をクリアするために村民に対するさらなるアピールも必要と考える。 ・早急な対応を求む。			
	図書館建設による情報発信と広域連携	図書館来場者数	生涯学習スポーツ課	12,800	12,920	13,811	15,274	15,048	25,000 → 16,000	来館者数は微減となりましたが、貸出冊数は前年比+5%でした。より多くの方が訪れる図書館となるよう努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・新図書館に向けて、村民の意識が高まるような企画を進めてほしい。 ・新図書館に期待する。			
	ごみ処理の広域化とごみの減量化	焼却ごみの削減 (t)	住民課	3,135	3,106	2,898	2,856	2,931	2,900	令和元年は平成30年と比較して、大町市・白馬村・小谷村(ごみの共同処理をしている市村)とも焼却ごみの量が増加した結果となりました。 今後も、「分ければ資源、混ぜればごみ」の観点でごみの分別を推進するため、ごみの出し方早見表(英語版も作成済み)の全戸配布、行政区別のごみ分別の講習会開催を継続していきます。 また排出抑制として、プラスチックごみの削減のため長野県が推進する信州プラスチックスマート運動の3C(チョイス(意識して選択)、チェンジ(すこすこつ転換)、コレクト(分別して回収))について、この3Cを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者継続して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月の衣類・布類の回	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・ゴミ減量化への取組は着実に成果が得られているが、さらなる村民の意識向上への努力を期待する。 ・ごみ処理の方法等を等について検討が必要である。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R1 外部評価	R1外部評価コメント	後期計画への反映	R7 2025 目標	検証結果が「廃止・一部修正」の場合の具体的理由
		リサイクル率	住民課	21%	22%	-	(今後国が実施する統計調査で確定)	(今後国が実施する統計調査で確定)	30.0%	リサイクル率が平成28年度から1%づつ減少していますが、焼却ごみ量も同じく減少しています。リサイクル率向上のため、分別の徹底と4Rを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者へ周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することからリサイクル率の低下が懸念されます。						
新たな広域連携による地域力の向上と経済・生活圏の形成	新たな広域連携で取り組む事業分野		総務課	0	4	7	9		8→10		5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・広域連携は着実に成果を見せている。目標を超えた成果を出して、利用者にとっても、村にとっても良い方向に進むことを願う。			